



公益社団法人

大分県薬剤師会

通号 217

vol. 59-3

おおいた 県薬会報

Journal of
The Oita
Pharmaceutical
Association

一般公開版

7
JULY
2025

Point of View [視点]
付き合い方

理事 副 守尋

付き合い方

理事 副 守 尋



平素は大分県薬剤師会の運営にご協力いただきありがとうございます。

今回中芝会長から指名があり、初めて視点を書かせていただきます。

最初は何を書いているのかわからず過去の会報を見て皆さん何を書いているのか・・・など内容について悩んでいたのですが、ふと思いつきました。

“そうだChatGPTに考えてもらおう！！”と。

それまでChatGPTを使用したことがなかったのですが、さっそくアプリをダウンロードし今時だから…と“トランプ大統領就任と日本医療業界への影響”や“日本薬剤師会の課題”について、“大分県薬剤師会会報の冒頭にある視点に書きたいので2,000文字くらいで教えて”と聞いてみたらスラスラと…今の私では不可能な時間で文章を作成してくれました。

これは便利だ、学生も卒論で使いたくなる気持ちもわかる、これをちょっと修正して出せば問題ないだろうと思ひ内容を添削、例えば

トランプ大統領の再登場は、ある種の「地殻変動」とも言える国際情勢の変化を象徴しています。その中で、日本の医療、特に薬剤師の立場はどうあるべきか。変化に流されるのではなく、変化を読み取り、地域の安心・安全を守る担い手として「実践力」を発揮することだと思います。私たち薬剤師一人ひとりが薬のプロフェッショナルとしての誇りを胸に前へ前へと歩み出す時ではないでしょうか。

それっぽい内容になったし、時間もないから…と提出寸前までいきました。

ただ私は昭和の人間です。齢を追うごとに薄っぺらいと感じる自分を磨くため、今まで敬遠してきた様々な本を読み、その内容を自分なりにかみ砕き、自身を形成してきたものが、この文章を出すことで私のアイデンティティみたいなものが失われる気がし、これに全て頼ろうとしたことに対して恐怖を覚えました。

間違っていて欲しくないのは、私はこのようなAIなどを利用することを否定しているのではありません。そもそも医療分野において、このような技術を使うことは避けられません。医師が見つけられなかった病状をAIが発見した話などもありますから、より一層進んでいくものと思われますし、それ以外の分野も含め必要な技術だとは思いますが。

強いて言えば、付き合い方…付き合う距離感が必要だと思います。

松下幸之助さんの言葉に

“学問はあくまで人間にとっての道具である。それを使う自分の主体性を自覚し、学問にとらわれ、振り回されないようにしたい”とあります。

これは学問が大切であるものには間違いなない。多くの先人たちが様々な学問に励んでくれたおかげで、今の人間社会の進歩発展が実現されているし、今後も学問の必要性はますます高まっていく。ただ高まれば高まるほどそれにと

らわれないようにすることが大事。学問が大切だからといって、それにとらわれ学問がなければ何もできないというように考えることがあれば、それは好ましくない。学問を通じて得られる知識はあくまで生活できるための道具に過ぎず、適切に使えば非常に効果的である反面、使い方を誤ると大きな弊害が生じ、場合によっては自分を滅ぼす・・・というような内容ですが、これが私にとってAIなどになるのではないのでしょうか。

先述したように、この流れは避けられませんし今後様々な技術を私自身も利用することでしょう。

ただそれがなければ何もできないということがないように、今回でいえばChatGPTがなければ文章作成もできない・・・というふうにならず適切に利用し、うまく使うことが必要です。

そのためにも私自身が常日頃から学ぶことに励まなければなりません。AIなどにとらわれず、利用したとしても最終的には私は私自身の言葉として伝え、その言葉に責任をもって行動していきたいと改めて気付かされました。



視点

付き合い方

理事 副 守尋

社会活動

令和7年度 大分県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

支部活動報告

大分県薬剤師会

宇佐市薬剤師会

会長 宮崎 雅英

臼津薬剤師会

会長 幸 徹

佐伯市薬剤師会

6.26 ヤング街頭キャンペーン参加報告 佐伯調剤薬局 小嶋祐一郎

令和7年度 世界禁煙デーキャンペーン 街頭広報

研修会案内

県民公開講座 お薬セミナー

シリーズ 薬剤師確保事業

薬剤師確保対策事業について 大分県福祉保健部 薬務室 室長 荒金真理子

薬剤師不足解消に立ち向かう地方の挑戦：薬科大学と築く持続可能な連携

杵築市立山香病院 三森 陽介、加藤 博和

地域・職域薬剤師会だより

豊後高田市薬剤師会

活動報告

会長 酒井 浩一

国東市薬剤師会

会長 植田 忠大

佐伯市薬剤師会

佐伯調剤薬局が専門医療機関連携薬局に認定される

佐伯調剤薬局 小嶋祐一郎

検査センターだより

令和7年度 大分県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

支部活動報告

地域・職域 薬剤師会	実施日時	実施内容	実施場所
県薬	6月28日（土）	「大分県薬物乱用防止6.26 ヤング街頭キャンペーン」に参加 街頭啓発の実施（県薬役員2名参加）	ガレリア竹町ドーム広場
別府	6月29日（日）	街頭啓発活動	別府駅から トキハ別府店の区間
中津	6月28日（土）	他団体とともにパンフレット配布、街頭募金の 呼びかけ	ゆめタウン中津
宇佐	6月28日（土）	他団体とともに街頭啓発、募金の実施	ハイパーモール メルクス宇佐
豊後高田	6月26日（木）	リーフレット等啓発資材の配布	ザ・ビッグ豊後高田店前
臼津	6月22日（日）	他団体とともに啓発資料の配布、街頭での声か け活動	臼杵市、津久見市内 各街頭
豊後大野	7月3日（木）	豊肥保健所、県立三重高校ヤングボランティア、 関係機関、関係団体とともに、幟の掲揚、啓発 資材の配布をおこなった	JR九州三重町駅前
佐伯	6月7日（土）	南部保健所とともに薬物乱用防止の啓発資材の 配布、国連支援の薬物乱用防止募金活動をおこ なった	トキハインダストリー 佐伯店



中津薬剤師会

大分県薬剤師会

日 時：令和7年6月28日（土） 13:30～15:00

場 所：ギャラリー竹町ドーム広場

参加者：大分県薬剤師会、大分県医薬品登録販売者協会、大分県防犯協会、
日本ボーイスカウト大分県連盟、ガールスカウト大分県連盟、
大分県警、大分県、大分市、他

概 要：当会から伊藤裕子常務理事、児玉淳理事が参加し、開会セレモニーの
後、ギャラリー竹町ドーム広場等において啓発リーフレット等を配布し、
街頭広報を実施した。



宇佐市薬剤師会

会長 宮崎 雅英

日 時：令和7年6月28日（土） 15:30～16:30

場 所：ハイパーモールメルクス宇佐（出入口3ヶ所）

参加者：宇佐市薬剤師会、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、
保護司会、警察ボランティア協会、宇佐警察署、宇佐市内高等学校

概 要：15:30～

（1）開会あいさつ（北部保健所 衛生課長）

（2）参加団体紹介

宇佐市薬剤師会、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、
保護司会、警察ボランティア協会、宇佐警察署、
宇佐市内高等学校

（3）厚生労働大臣メッセージ代読（宇佐高校 生徒）

（4）開始宣言（柳ヶ浦高校 生徒）

（5）北部保健所薬事改正説明

（6）集合写真撮影

15:40～

- ・パンフレット及び啓発物品の配布
- ・街頭募金の呼びかけ

16:30 解散



臼津薬剤師会

会長 幸 徹

日 時：令和7年6月22日（日）

場 所：臼杵市・津久見市内 各街頭

参加者：臼杵地区：18名（うち薬剤師会会員5名）

津久見地区：23名（うち薬剤師会会員2名）

概 要：6・23ヤング街頭キャンペーンの実施

キャンペーン開始にあたり、厚生労働大臣からのメッセージを保健所職員の方にご朗読いただき、活動の趣旨を共有しました。

当日は、薬剤師会員に加え、ボーイスカウト、警察官、関係団体の方々にもご参加いただき、薬物乱用防止を呼びかける啓発資料の配布や街頭での声かけ活動を行いました。

本キャンペーンにご協力いただきました関係機関の皆様に深く感謝申し上げます。

今後とも、地域に根ざした薬物乱用防止活動に尽力してまいります。



佐伯市薬剤師会

6.26 ヤング街頭キャンペーン参加報告



佐伯調剤薬局 小嶋 祐一郎

日 時：令和7年6月7日（土） 10:00～11:00

場 所：トキハインダストリー佐伯店

参加者：佐伯市内の3校の高等学校生徒（10名）

薬物乱用防止南部地区協議会員（21名）

佐伯保護区保護司会、佐伯地区少年警察ボランティア協会、佐伯市防犯協会、佐伯ライオンズクラブ、一般社団法人佐伯市薬剤師会

大分県佐伯警察署職員（2名）

大分税関支署佐伯出張所職員（2名）

大分県南部保健所職員（4名）

概 要：①啓発資材の配布（300部）

薬物乱用防止に関するリーフレット、
絆創膏、ポケットティッシュ、ボールペン

②募金活動

青少年の健全育成とボランティア活動への参加意欲の向上を促すとともに、地球規模での薬物乱用防止に関する理解を高めることを目的としています。集まった募金は、開発途上国等で薬物乱用防止の活動を行っているNGOの活動資金になり、薬物乱用のない世界に向けての活動に利用されます。

多くの団体の方々に混じって、12名の佐伯市薬剤師会のメンバーが資材の配布や募金の呼びかけを行いました。300部用意した啓発資材のうち、およそ260部を1時間で配布することができました。募金していただいた市民の皆様には厚く御礼申し上げます。

※国連では、地球規模で拡大する薬物乱用問題の解決に取り組むために、6月26日を「国際麻薬乱用撲滅デー」と定めています。



参加した薬剤師会のメンバーと南部保健所の職員の方々です。

令和7年度 世界禁煙デーキャンペーン 街頭広報

日 時：令和7年5月30日（金） 7:45～8:45

場 所：JR大分駅北口・南口外側

参加者：伊藤 裕子 常務理事

庄司 晃寿 理事

5月31日世界禁煙デー及び禁煙週間を踏まえ、禁煙及び受動喫煙の重要性について周知を図ることを目的に、大分県県民健康増進課をはじめ、禁煙健康ネット大分、大分市保健所、大分市薬剤師会などと共に街頭キャンペーンを行った。



県民公開講座 お薬セミナー

入場無料・事前登録不要
定員：100名

どなたでも事前申し込み不要で会場にご参加いただけます！

日時：令和7年10月19日（日）

場所：J:COMホルトホール大分 3階 302・303会議室
大分市金池南1-5-1 ☎097-576-7555

主催者挨拶（10：00～10：05）

公益社団法人大分県薬剤師会 会長 中芝 高彦

一般講演（10：05～10：30）

「薬草を探して
～薬剤師が語る、漢方のはなし～」

大分県薬剤師会 情報委員会 淵野 貴広

大分県薬剤師会からのお知らせ（10:30～10：40）

「簡易心電図測定で早期発見、早期受診」

特別講演（10：40～12：10）

「笑わないと笑えなくなる」

おおいた観光特使

佐伯市宇目町鷹鳥屋神社 宮司 矢野 大和 先生

簡易心電図測定体験コーナー（12：10～）

主催：公益社団法人大分県薬剤師会

連絡先

大分県薬剤師会 薬事情報室
TEL：097-544-9512 FAX：097-544-8060
mail：jyouho@oitakenyaku.or.jp

シリーズ 薬剤師確保事業

薬剤師確保対策事業について

大分県福祉保健部 薬務室 室長 荒金 真理子
(大分県行政薬剤師会)

会員の皆さま方におかれましては、日々、ご多忙の中、薬務行政の推進にご協力いただきありがとうございます。

さて、介護や在宅医療の拡大にともなう地域包括ケアへの参画やチーム医療の進展、医師のタスクシフトにより薬剤師活躍の場が大きく広がっています。

その一方で、全国的に見て薬剤師の偏在が著しく、令和5年に厚生労働省が発出した薬剤師確保ガイドラインにおいて、大分県は薬剤師が不足していることが数値的に示され、特に病院薬剤師の不足が深刻であることが明らかになりました。

このような状況から、大分県で活躍する薬剤師を増やすべく、県では奨学金関係の事業を軸とした薬剤師確保対策事業を今年度からスタートしましたので、これから何回かに分けて紹介していきたいと思います。

まずは、奨学金関係の事業を説明します。

一つ目は既に薬剤師になった方を対象とした奨学金返還支援事業です。奨学金の返還を行っている薬剤師を支援している病院に対し県が助成を行うことにより、病院への薬剤師の就職と定着を後押しするものです。現在、県内病院への就職を希望し、かつ、奨学金の返還を行っている薬学生及び薬剤師を探しておりますので、心当たりがありましたら薬務室までご一報願います。

二つ目は薬学生を対象とした修学資金貸与です。卒業後、県内の薬剤師不足病院に就職する病院コースと県に就職する行政コースがあり、

これらの職場に勤務すると返還が免除されます。現在、令和7年度及び8年度の貸与希望者を募集中です。学費等を必要としている1～4年の薬学生もしくは高校3年生のお知り合いがいらっしゃいましたら、制度についてお伝えいただけると幸いです。

上記二つの事業いずれも、一定期間の就業義務を条件に設けております。詳細は下記のとおりです。

薬学生向け『返還免除付き修学資金貸与制度』

修学資金貸与を希望する薬学部進学志望の高校生等を募集しています。

【対象者】R7年度県内高校の卒業見込の者又は

1～4年の薬学生

【支援額】国公立：年間80万円（上限）+入学金28.2万円

私立：年間96.4万円（上限）+入学金26万円

【返還免除要件】卒業後、県指定の病院か行政薬剤師として県に貸与期間×1.5の年数継続就業

薬剤師向け『奨学金返還支援補助制度』

県内の対象病院で働くことで、奨学金の返還が支援されます。

【対象者】県内の対象病院に新たに就職する県内外の薬剤師（ただし、県内病院からの転職者を除く）

【対象病院】県薬務室のHPに掲載されている病院（随時更新）

【支援額】80万円/年間

【条件】返還支援期間×1.5の年数対象病院に継続就業

大分県薬務室のHPも
ご覧ください



次に開催予定のイベント等を紹介いたします。

8月7日（木）、8日（金）両日で、薬学生対象に病院見学ツアーを開催します。県内の病院を実際に訪れ、現場の薬剤師さんの話や業務内容、職場環境などを直接、見たり聞いたりできるもので、学生さんにとって有意義なものに

なると考えております。医学生や看護学生も一部同行しますので、他の医療職種の学生さんと交流できる貴重な機会でもあります。

また、8月7日（木）の夜は初めての試みとして、大分センチュリーホテルにおいて薬学生向けの就職フェア（病院編）を開催します。参加する病院さんにとっては、人材確保の場となり、学生さんにとっては、より多くの病院の情

報を得られる場になることを期待しているところです。ちなみに、今年度内に就職フェア（薬局編）の開催も予定しております。

就職フェア（病院編）の応募の締め切りは、7月31日（木）となっております。参加希望者の方がいらっしゃいましたら、薬務室のHPから申し込みをお願いします。参加費はすべて無料です。

薬学生・薬剤師むけ 医学生・看護学生一部参加！

令和7年度
8/7(木)~8/8(金) **大分県**
病院見学ツアー

大分県内の病院を見学できるツアーです！！
自分の参加したいツアーを3つの中から選択できます！

✓ 参加費・昼食代/無料
✓ 旅費・宿泊費支援/あり

ツアーの詳細は裏面を見てね！

※大分県外から、公共交通機関利用時の交通費及び宿泊費に対して支給（上限あり）

申込期限 **令和7年7月18日(金)**

申込方法 右のQRコードからお申込みください。ご不明な点がございましたらお問い合わせください。

※参加希望者多数の場合は、定員になり次第募集を締め切る可能性があります。

お申込みはこちらから

問合せ先 大分県福祉保健部薬務室 薬務班
TEL 097-506-2650
E-Mail a12610@pref.oita.lg.jp

見学はA・B・Cコースの中から1つ選択してください。

※医学生、看護学生の参加者が同乗する場合があります。

Aコース	Bコース	Cコース
大分大学医学部附属病院	厚生連 鶴見病院	新別府病院
大分中村病院	アルメイダ病院	大分赤十字病院
中津市民病院	大分医療センター	大分県立病院

大分駅 府内中央口（北口）JR九州ホテルプラザ大分1F 入口前 8:50 集合

※大分駅までは各自でお越しください。車窓泊先については各自で手配してください。

日程

8/7(木) 9:05 大分駅 出発 → 病院① 見学 → 昼食 → 病院② 見学 → 大分駅 到着 17:00 → 懇親会(希望者のみ) 17:30

病院見学ツアーのあとは... **懇親会・就職フェア**を開催します！
8月7日(木) 17:30~@大分センチュリーホテル
大分県内の病院が多数参加！！ 参加費無料！！

※交流会のみの参加も可能ですが、旅費・宿泊費は支給されません。

8/8(金) 9:00 大分駅 出発 → 病院③ 見学 → 大分駅 到着 12:30 → お疲れさまでした！

※時間は多少前後します。

お申込みはこちらから

病院薬剤師っち、意外といいかも。

薬剤師・薬学生対象

参加費・飲食代 ぜんぶ無料！

気になる病院薬剤師のリアルをのぞいてみよう。

大分県 病院就職フェア

令和7年8月7日(木) 17:30~19:30
@大分センチュリーホテル 桜の間
(大分駅から徒歩5分)

✓ 各病院からの個別説明
✓ 現役薬剤師とフリートーク
✓ 病院ごとの雰囲気や働き方もわかる！

イメージ写真

申込はコチラから 7月24日(木)まで

お問合せ 大分県福祉保健部薬務室
TEL : 097-506-2650 Mail : a12610@pref.oita.lg.jp

7月31日(木)まで 延長

これらの他に、薬学生が公的病院等での職場体験に参加する際の県外からの旅費・宿泊費補助や、高校生が大分県の地域枠を設けている薬学系大学を見学に行く際の旅費・宿泊費支援を行う事業など、数多く実施しております。

また、薬剤師の不足が深刻な豊肥地区及び西部地区において、高校生を対象としたイベントも予定しております。

高校生向け、薬学生向けの事業や行事を一覧にしました。

皆さま方にはこれらの事業について、周知をはじめとする全面的なご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。大分県で活躍する薬剤師を1人でも多く増やしていきましょう。

R7年度高校生向け大分県薬剤師確保事業一覧

事業・イベント名	時 期	対 象	内 容	備 考
地域枠設定大学見学旅費支援	7月上旬～2月中旬頃予定	全学年 5名程度 (先着)	明治薬科大学、日本薬科大学のオープンキャンパス参加等に対する交通費、宿泊費を支援（上限あり）	大分県薬剤師会に申請
豊肥地区病院薬局見学ツアー	8/19(火)	全学年	豊肥地区の病院及び薬局をめぐりその業務を実地で見学	学校ごとに参加者集約
西部地区病院薬局見学ツアー	10/9(木)	全学年	西部地区の病院及び薬局をめぐりその業務を実地で見学	学校ごとに参加者集約
豊肥地区薬剤師との交流会	10月中旬	全学年 (中学生も参加予定)	現役で活躍する地元の薬剤師と交流	大分県薬務室に事前申し込み※
薬学生向け県内就労促進イベント (@福岡dot. + ZOOM)	11/8 (土)	高校生の参加も可 全学年	大分県で活躍する薬剤師の講話 国家試験対策やクルーズ船ダイヤモンドプリンス号でのCOVID-19対応薬剤師の活動講話※	大分県薬務室に事前申し込み※
中高生向け薬剤師魅力発信イベント（@大分市）	1月中の (土)(日) (祝) いずれか	全学年	最新医療DX導入した薬局見学 薬剤師業務体験、現役薬学生による薬学部受験対策、大分県で活躍する薬剤師講話※	大分県薬務室に事前申し込み※

※一部変更になる可能性あり

R7年度 大学生向け大分県薬剤師確保事業一覧

事業・イベント名	時 期	対 象	内 容	備 考
大分県薬剤師UUターン就職活動支援	7月上旬～2月中旬頃まで予定	全学年 36名程度 (先着)	大分県内の公的病院及び県の行政機関でのインターンシップ等就職活動に対する交通費、宿泊費を補助（上限あり）	大分県薬剤師会に申請
大分県病院見学ツアー	8/7(木)～8/8(金)	全学年 (高学年優先)	大分県内の病院を見学するツアー。 一部医学生・看護学生の同行あり。参加費・昼食代無料。県外からの参加者は「UUターン就職活動支援」による旅費等の支援申請が可能。	大分県薬務室HPから事前申し込み (応募締め切り 7/18)
懇親会 & 就職フェア(病院編) (@大分センチュリーホテル)	8/7(木)夜	全学年 (高学年優先)	病院見学ツアー後に開催。懇親会のみ参加も可能だが、旅費等の申請は不可。病院関係者等と就職情報についての意見交換を行う。 飲食代も含め学生は参加費無料。	大分県薬務室HPから事前申し込み (応募締め切り 7/24)
薬学生向け県内就労促進イベント (@福岡dot. + ZOOM)	11/8 (土)	全学年	大分県で活躍する薬剤師の講話 国家試験対策やクルーズ船ダイヤモンドプリンス号でのCOVID-19対応薬剤師の活動講話※	大分県薬務室に事前申し込み※
大分県薬局・病院見学ツアー	2月頃	全学年 (高学年優先)	大分県内の薬局・病院を見学するツアー。 参加費・昼食代無料。 県外からの参加者は「UUターン就職活動支援」による旅費等の支援申請が可能。	大分県薬務室HPから事前申し込み※
懇親会 & 就職フェア(薬局編)	上記ツアーと同日夜	全学年 (高学年優先)	上記見学ツアー後に開催。懇親会のみ参加も可能だが、旅費等の申請は不可。薬局関係者等と就職情報についての意見交換を行う。 飲食代も含め学生は参加費無料。	大分県薬務室HPから事前申し込み※

※一部変更になる可能性あり

薬剤師不足解消に立ち向かう地方の挑戦： 薬科大学と築く持続可能な連携

杵築市立山香病院 三森 陽介、加藤 博和

杵築市は2024年11月27日に日本の市町村として初めて、横浜薬科大学と薬剤師不足解消を目指す連携協定を締結しました。それに先立ち2024年7月から同大学との協議を開始し、わずか4か月というスピードでの締結となりました。近年、薬剤師の総数は増加しているにもかかわらず、地域偏在が深刻化していることはよく知られています。特に、都市部の保険薬局やドラッグストアへの就職が集中し、地方の病院では薬剤師の確保が非常に困難な状況が続いています。

私（三森）は2023年9月に神奈川県内の病院から当院へ赴任しました。赴任後に実感したのは、薬学部を持たない県、特に大分県内の地方部では、保険薬局ですら薬剤師不足が深刻で、病院薬剤師を確保するのは想像以上に難しいという現実でした。このような問題に対処するため、当院では市と連携し、横浜薬科大学との協力体制を模索しました。「なぜ横浜薬科大学なの？」とのご質問もあるかと思いますが、主たる理由は以下の3点です。

第一に、同大学が静岡県や長野県などで薬剤師の地域偏在解消に向けた研究を積極的に展開し、Uターン学生やIターン就職の実績を持っている点です。その成果を杵築市に応用することで、薬剤師確保に大きな効果を期待できるのではと考えました。

第二に、「特待生チャレンジ試験」の実施です。受験生やその親御さんから薬学部が敬遠される理由の一つに、学費の高さがあります。当院から奨学金を得ることにより、特待生として

国立大学並みの学費で進学が可能となり、経済的な理由で進学を諦めていた学生に大きな希望を提供できます。

第三に、そして最も大きな理由は、横浜薬科大学の教員が、杵築市の課題に真摯に耳を傾け、協力を申し出てくださったことです。他大学からは県単位での連携を求められたり、就職説明会でも十分な対応が得られなかった中で、横浜薬科大学では庄司満教授、佐藤透教授、鈴木高弘准教授を中心に、地域偏在の研究を杵築市でも実施すべく、積極的に働きかけてくださいました。このような経緯を経て、Uターン学生の推薦枠設置と、Iターン学生に向けた広報活動の強化を柱とする連携協定が実現しました。

Uターン学生確保の一環として、2025年1月には杵築市庁舎で特待生試験を兼ねた出張入試が実施され、全国レベルの学力評価が可能となるよう、大学の入試問題を活用しました。今回は告知期間が短く、受験者は2名のみでしたが、そのうち1名が奨学金の貸与を受け、特待生として入学が実現いたしました。今後は、2025年11月と2026年1月に大分市にて、杵築市、豊後大野市民病院、国東市民病院が協力し、地域特別枠および一般特待生試験が実施される予定です。

Iターン学生の確保に向けても、さまざまな取り組みが進められています。2025年3月には当院の宇都宮事務長が横浜薬科大学で地域医療セミナーの講師として招聘され、大分県の医療現場の現状を紹介しました。また、10月には大学祭に参加し、大学の学食で杵築市の特産

品を提供する予定です。

大分県は“おんせん県”として全国的に知られていますが、別府・湯布院以外の地域は、まだまだ認知度が低いのが実状です。実際、神奈川県友人に「杵築で働いている」と話しても、その場所を知っている人はほとんどいません。Ｉターンの方の更なる促進には、まず大分県や杵築市の魅力を知っていただく必要があります。

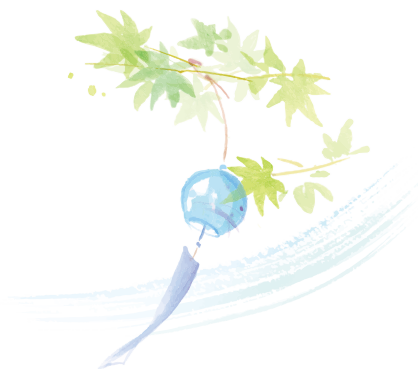
たとえば、給与水準は首都圏と比較しても遜色なく、家賃もリーズナブルで、1Kの部屋を1万円台から借りることができます。物価も安く、米、海産物、豚肉などの食材も豊富で美味しい。さらに、熊本県や福岡県へのアクセスも良く、多彩な温泉を楽しめる地域でもあります。私自身も山香病院へ赴任前は、大分県の地方都市について田園風景のイメージを持っていましたが、杵築市街にはディスカウントショップやファストフード店などが揃っており、予想以上に暮らしやすい街です。

都市部の学生の多くが、このような地方の魅力を知らずにいるのが現状です。地方就職を希

望する学生にとって、「他の地方都市の一つ」としてではなく、選ばれる市となるために、私たちが積極的に情報発信し、魅力を伝える必要があると強く感じています。

薬剤師は、医療の質を担保するうえで不可欠な医療専門職です。近年、ある講演会で、「心不全のGDMT（Guideline-Directed Medical Therapy）チェックなど、より専門的な領域においても薬剤師の活躍が強く求められている」との意見を耳にしました。

今回の取り組みを通じて、地方自治体や医療機関が、薬剤師の地域偏在解消に向けた研究に積極的に取り組む薬科大学や薬学部と連携し、課題解決に向けた新たなモデルが示されたことは、非常に意義深いものと考えています。今後は、大分県にとどまらず、同様の課題を抱える全国各地域にこのような連携が広がり、薬剤師の地域偏在解消や、地域医療全般の質の向上へつながっていくことを心より願っております。



豊後高田市薬剤師会 活動報告

会長 酒井 浩一
(たかだ調剤薬局)

日 時：令和7年5月17日（土） 11:30～
場 所：豊後高田中央公園
主 催：豊後高田ロータリークラブ

豊後高田市が毎年行う「五月祭」において豊後高田ロータリークラブが主催する、ポリオ根絶を目的とする募金活動に、豊後高田市薬剤師会が協賛いたしました。

当日は、ロータリアン28名の皆様が参加で、合計金額78,593円のご寄付をいただきました。

この金額は、国際ロータリーポリオ根絶財団の方に送金されました。

薬剤師会としては、オーキューバンエコ10枚入を協賛し、募金された皆様に提供いたしました。



国東市薬剤師会

会長 植田 忠大
(国東市民病院前薬局)

2025年4月に国東支部の会長を拝命いたしました。若輩者ではございますが、地域医療に貢献していけたらと考えております。

近年は、麻薬・大麻・覚醒剤といった違法薬物の乱用に加えてオーバードーズによる乱用が社会問題となっております。

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所による調査で、薬物乱用での検挙人数に関して10代の構成比で2014年では0%だったのが2022年には約65.2%と過半数を占めている現状です。

また、同施設の2024年におけるデキストロメトルファン・ジフェンヒドラミン中毒での救急搬送患者を調査した途中報告においては、79件の搬送数に対して、女性88.4%、10代・20代で87%と女性・若年層の薬物乱用が多く見受けられます。この研究結果の中で、入手経路も調査しており、店頭購入が7割を占めているなど入手のしやすさも見受けられます。販売する際には薬剤師・登録販売者が関わる場面も多いことになり、乱用の防波堤としての役割を担うこともできるのではないかと私見ながら考えます。

若年層の薬物乱用の主な要因としては、孤独感やいじめなどの現実からの逃避が主な理由となっているほか、SNSなどの普及で同様の不安を抱える人たちの悪い意味でのコミュニティ形成が促進していることで、薬物乱用へのハードルが下がってきていることも挙げられます。こういった理由からの乱用の場合、「今までの危険性を訴え、使用を禁止する。」といった方法は効果が薄いと考えられます。医薬品の危険性については、「十分ではないものの理解しているが、それを上回る社会的・精神的な負担が大きいことから手を出している。」という今までの違法薬物とは違う理由での乱用につながっているためです。

そこで、乱用を防止するためには、地域の薬剤師が薬物の適正使用を訴える活動を積極的にを行い、相談を受けやすい体制づくりへの参画を行っていく必要があります。

さて、ここからは国東市で行っている活動について紹介させていただきます。

国東市では毎年10月の「薬と健康の週間」に合わせて啓発活動を行っております。毎年、東部保健所（国東保健部）と合同で行っており、

昨年は薬剤師会から6名参加しました。

今回は同日に、市役所にてフレイル予防の市民公開講座も実施しており、その場を借りて啓発資材の配布を行いました。当日の天候にも恵まれ、20℃ほどと過ごしやすい気温での活動となりました。

市民講座に参加される市民の方も多く、薬に関しても興味をお持ちで、会員とも話をされておりとても充実した活動になったと思います。

その場では、詳しいおくり相談・健康相談は実施できませんでしたが、活動に関してのご理解はいただけたように感じ、大変ありがたく思いました。

また、今年から新しく、各薬局での啓発資材の配布も行ってみました。

国東市は国東町・安岐町・武蔵町・国見町と広範囲に渡り、国東市役所での一日だけの啓発活動では限界があることから、各薬局でも活動することでより多くの方に知ってもらえるきっかけになったと思います。

啓発資材としては、パンフレットに加え、ティッシュやアルコール消毒綿を配布しました。

今年度も続けて、より多くの市民の方々に薬と健康について知ってもらえたらと思います。

今後は、冒頭でも問題とした、若者への啓発活動について積極的に取り組むことで長期的な病気のリスク低減に努めていくことも薬剤師として携わることのできる業務と考えております。

その際には、“禁止”の方向ではなく“共感”することを念頭において、人と人とのつながりを意識しつつ、場合によっては多職種とも連携し病院や保健所など様々な医療・行政機関も含め地域での教育や補助に携わられたらと思います。

内容参考・引用サイト：

研究報告書 | 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部 救急医療施設を受診したデキストロメトルファンおよびジフェンヒドラミン中毒の臨床的・心理学的特徴に関する調査 4.kamijyou.pdf
薬物乱用・依存状況の実態把握と薬物依存症者の社会復帰に向けた支援に関する研究 | 厚生労働科学研究成果データベース 分担研究3

佐伯市薬剤師会

佐伯調剤薬局が専門医療機関連携薬局に認定される

佐伯調剤薬局 小嶋 祐一郎

本年6月6日に、佐伯市薬剤師会の会営薬局である佐伯調剤薬局が専門医療機関連携薬局として認定を受けました。大分県内では別府市の有限会社キムラ薬局に次いで2施設目の認定となります。専門医療機関連携薬局とは、がん等の専門的な薬学管理が必要な患者様に対して、他の医療機関との密な連携を行いつつ、より高度な薬学管理や高い専門性が求められる特殊な調剤に対応できる薬局のことです。

今後、佐伯調剤薬局は佐伯市内を含めた地域の薬局に対して医薬品の提供や医薬品に係る専門性の高い情報を発信し、併せて高度な薬学管理を行うために必要な研修等を実施することで、地域の薬局が専門的な薬学管理に対応できるよう支援するといった取組を行っていきます。

地域に向けた研修会を実施するに先立ち、佐伯調剤薬局の職員のレベルアップを目的として、6月25日に無菌調剤研修会を実施しました。今回は薬剤師のみならず、事務職員も参加して調剤報酬に関する知識の習得も行いました。

日時：令和7年6月25日（水） 18:00～19:00

研修内容：

- ①無菌製剤処理における調剤報酬について
- ②無菌調剤手技の実践

ーニプロシュアフューザーAの使用方法ー



実際にシュアフューザーAを用いて、薬液の充填作業を行っているところです。大学で受けた実習を思い出しながらかつめあっている薬剤師の姿をご覧ください。

検査 センター だより

Contents

2025年 7 月

機器紹介（新しい顕微鏡を増設しました）

TEL 097-544-4400 FAX 097-546-8190

URL <http://www.oitakensa.jp/>

E-mail soumu@oitakensa.jp

機器紹介 (新しい顕微鏡を増設しました)

令和4年4月1日より建築物等の解体・改修等工事をする際は、アスベスト事前調査が義務化されました。この事前調査には有資格者による調査が必要で、当検査センターでは分析調査を含む事前調査を一貫して行っています。

この度、アスベスト事前調査の分析検査に用いる顕微鏡を増設しましたので紹介します。

実体顕微鏡

アスベストの分析において試料の外観や色の観察を行うほか、繊維や断層の観察を行います。試料の状態は数倍から10倍程度の低倍率で観察し、繊維や繊維束を剥離や粉碎を行った後取り出します。



偏光顕微鏡

2枚の偏光板が備わっている光学顕微鏡です。

この顕微鏡では試料に偏光を入射した際の偏光状態の変化や複屈折特性を光の明暗や色で観察することができます。実体顕微鏡で探した繊維について、アスベストやアスベストの種類を同定します。



顕微鏡での検査は短時間で検査ができるというメリットもありますが、人の目による判断となるため、分析者の熟練度がとても大切になります。当センターにおいても普段から技術の習熟を図るとともに、外部精度管理や技術講習等に積極的に参加し、精度と技術の向上に努めてまいります。